

うそ

校長 武井 正明

この夏、7月からずっと引き摺っていますよね、伊東市・田久保市長の学歴詐称騒動。真実はわかりませんが、皆さんはどう思いますか？

「最初に正直に言っちゃえば良かったのに…」

でも皆さん、経験ないですか？最初に嘘ついちゃうと、ずっと嘘をつき通さないといけなくなったっていう経験。最後は辻褄が合わなくなって、矛盾だらけで嘘がばれる…。

私はある。自慢じゃないけど恥ずかしながら。それもヤマほど。

ただ、その度に思うのは、苦しい切ない。そして自己嫌悪。良い事などひとつもない。でも気づくとまたウソついている。懲りずに同じことの繰り返し。

そんなことを考えていると、東京の私立高に勤務する（料理研究家の和田明日香が教え子）親友から『毎年恒例の独り温泉旅行伊東です』と羨ましいラインが来た。そうか、まだそっちは始まっていないのか。伊東温泉か、いいなあ…。

「俺も自分が大学卒業したのか自信がなくなってきたよ」と冗談で返すと「面白い、学歴詐称校長！」と返しが来た。当の伊東市は、もはやそんな笑い事ではなくなっている。

苦しくなるのがわかっているのに、多くの人々の信用を失うのがわかっているのに、それでも嘘をついてしまうのが、弱くてダメな自分っていう人間だ。

では、どうすればいいか。そのヒントは、この人の言葉にありそうだ。

その人

あいだみつを

その人の前に出ると 絶対にうそが言えない
そういう人を持つといい その人の顔を見ていると
絶対にごまかしが言えない そういう人を持つといい
その人の眼を見ていると 心にもないお世辞や
世間的なお愛想は言えなくなる そういう人を持つといい
その人の眼には どんな巧妙なカラクリも通じない
その人の眼に通じるものは ただほんとうのことだけ
そういう人を持つがいい
その人といっただけで 身も心も洗われる
そういう人を持つがいい
人間はあまりにも うそやごまかしが多いから
一生に一人は ごまかしのきかぬ人を持つがいい
一生に一人がいい そういう人を持つといい

そういう人には、なかなか会えないものです。正直に生きるって、難しい。